

大雨が降った時に身を守る行動を考えよう！

～熊野川中学校で防災授業を行いました～

～紀南河川国道事務所～

地域の防災力向上のための取り組みの一環として、新宮市日足地区にある熊野川中学校で防災授業を行いました。

台風が近づいている時、自分たちの身を守るため、どのようなタイミングでどのような行動を起こせばよいのか、平成23年の紀伊半島大水害や先月の台風第21号といった身近な災害を振り返りながら、生徒の皆さんと紀南河川国道事務所の職員が一緒に考えました。

- 日 時:平成29年11月14日(火) 13:10～14:20
- 場 所:新宮市立熊野川中学校(全校生徒22名)
- 主 催:紀南河川国道事務所



職員による概要説明

- ・過去の水害の様子
- ・台風の進路と傾向
- ・雨の量と河川の水位
- ・情報の入手の方法
- ・事前避難の重要性
- ・平時から心がける事



ワークショップ形式での 班別討議

- ・どういう行動をするべき？
- ・どこに避難すればいい？
- ・誰に相談したらいい？
- ・どこを通ればいい？
- ・持ち物は・・・



考えた事の発表の状況



授業を受けた生徒の感想

- ・山に雨が降っただけでも川に集まれば水かさが大きくなるので驚いた。
- ・台風が来たときの事を初めてちゃんと考えたので、次に台風が来た時実行したい。
- ・地域には安全であり、危険でもあるところが沢山あることに気づきました。
- ・みんなの意見を聞いて、自分には思いつかないこともあったので、参考にしたい。
- ・水が増えると道もわからないので、いつ起こってもいいよう毎日気を付けて歩こうと思う。
- ・いつも台風が来ると避難所へ行っていたが、親が判断していた。授業でどうすれば身を守れるか分かったので自分の力で身を守りたい。